

## 平成21年度 使途別の事業実績

### I 水源のかん養、地球温暖化防止などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり

#### 1 健全な人工林の整備

水源のかん養や地球温暖化防止など森林の持つ公益的機能を高めるため、手入れが遅れた人工林の間伐や作業道の開設、間伐材の搬出促進などを支援しました。

森林機能強化事業、搬出促進事業、CO<sub>2</sub>吸収源対策緊急間伐事業、造林補助事業（間伐促進）

◆事業実績：間伐面積 3,598ha

- |                                   |         |                     |
|-----------------------------------|---------|---------------------|
| ・奥地隣等の切捨間伐を実施                     | 間伐面積    | 576ha               |
| ・間伐作業に必要な作業道を整備                   | 森づくり作業道 | 49,916m             |
| ・値段が安いスギ材を搬出し、間伐材を有効利用            | 搬出材積    | 7,263m <sup>3</sup> |
| ・地球温暖化の防止に貢献するため、経営放棄された荒廃森林の間伐作業 | 間伐面積    | 600ha               |
| ・造林補助事業の切捨間伐へ県民税を充当した事業の推進        | 間伐面積    | 2,422ha             |



間伐作業



間伐完了

#### 2 多様な森林づくり

松くい虫被害により公益的機能が低下している森林の再生対策や、地域における森林の実情や課題に対応した地域提案型の森林づくりを推進しました。

自然力を活かした森林再生事業、被害松林危険箇所解消事業、市町村提案型森づくり事業

◆事業実績：伐倒等材積 3,908m<sup>3</sup>

- |                      |         |                     |
|----------------------|---------|---------------------|
| ・松くい虫過年度被害木等の除去      | 伐倒      | 60ha                |
| ・松くい虫被害発生源を除去        | 伐倒・薬剤処理 | 1,828m <sup>3</sup> |
| ・道路沿い等の危険な松くい虫被害木を伐倒 | 伐倒・整理   | 2,080m <sup>3</sup> |
| ・松くい虫被害予防で薬剤の樹幹注入    |         | 2,019本              |
| ・間伐用林業機械を導入          |         | 5台                  |



被害木の伐倒作業



伐倒・処理完了

## Ⅱ 森林整備を推進するための担い手の確保と木材の利用促進

### 1 林業労働者の就労条件の整備、若い担い手の育成

森林の適正な整備推進には、担い手の確保が不可欠であり、新規に労働者を雇用した林業事業体に対して、現場研修経費を5年間支援するとともに、県・市町村が管理する森林利用施設を新規就業者の研修の場として提供して、環境整備等を行い、林業に必要な知識や技能を備えた人材の育成を行いました。

また、安全作業のための装備、器具等の導入助成を行い、優秀な林業労働者の育成、確保、定着を促進しました。

#### (1) 森林保全担い手対策事業（ニューフォレスター育成支援事業）

林業事業体が実施する新規就業者の現場研修経費に助成（5年間）

◆事業実績：事業体数	21事業体
新規従業者数	96人

#### (2) 森林保全担い手対策事業（ニューフォレスター創造事業）

県や市町村が管理する森林利用施設の環境整備等の実施による新規就業者の研修の場の提供

◆事業実績：箇所数	20箇所
対象面積	193 h a

#### (3) 森林保全担い手対策事業（林業労働安全・安心推進事業）

安全作業を行うための装備・器具等の導入助成

◆事業実績：事業体数	14事業体
導入人数	192人



新規就業者に対して林業に必要な知識・技能の研修状況

## 2 木材の利用促進

県産木材を利用することは、林業・木材産業を活性化させ、森林の保全・整備が促進されます。

このため、公共施設、学校等の内装資材等に県産木材を使用する経費の一部を助成するとともに、公共施設等に県産木材ベンチ等を設置して、県産木材の需要拡大を図りました。

### (1) おかやまの木でつくる快適環境整備促進事業

#### ・木とふれあう空間整備

公共施設等において、県産木材を使用した床・壁等の内外装や遊具等の整備を支援しました。

◆事業実績：11件 木材使用量 47m<sup>3</sup>



倭文保育所（津山市）



西粟倉小学校（西粟倉村）

#### ・木の香る憩いのまちづくり推進事業

観光地や商店街、身近な広場などの公共的な場所に、県産木材を使用した案内板やベンチ等を設置する場合など地域住民等による自主的かつ計画的なまちづくりを支援しました。

◆事業実績：7件 木材使用量 21m<sup>3</sup>



高梁市内の公園入口の看板



吉備中央町内の花壇

### (2) 木とふれあう快適学習環境づくり事業

子供や保護者等が木の温もりや香り、肌ざわりなど木の良さを実感できる快適な学習環境を整備するため、県産木材で製作された学童用の机・椅子を県が調達し市町村（教育委員会）の要望等に応じて小学校へ配置しました。

◆事業実績：41校(1,500組) 木材使用量 35m<sup>3</sup>



軽部小学校（赤磐市）

### （３）おokayamaの森林資源活用推進事業

#### ・木質バイオマスの利活用検討事業

地域の林業・木材産業界等が行う木質バイオマスの新たな利用開発に向けた検討を支援しました。

#### ・県産材安定供給体制づくり検討事業

生産から加工・流通に至る県産木材の安定供給体制づくりに向けた検討を支援しました。

#### ◆事業実績： 岡山県木材組合連合会



検討会

### （４）高校生「県産材活用」UD整備事業

県産木材を活用し、ユニバーサルデザイン（UD）を取り入れた学校の居室整備を支援し、木材の利用を促進しました。

また、高校生が自ら企画・提案し、設計・施工に取り組むことにより、森林の働きや森林保全の必要性、木材の良さについて理解を深めました。

#### ◆事業実績 県立津山商業高校 木材使用量 9 m<sup>3</sup>



商品実験室を生徒の安らぎの空間として多目的教室に改修

### Ⅲ 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進

#### 1 県民への情報提供等

県民共有の財産である、水源のかん養をはじめとする森林の公益的機能を持続的に発揮させるためには、県民一体となって森林を適正に維持・保全していくことが必要です。このため、森林・林業の役割やその重要性、本県の森林・林業の現状と課題、おかやま森づくり県民税を活用して実施する森林保全事業の取組などについて、新聞、テレビ等の各種広報媒体を活用したPRやパンフレットの配布などにより、県民の皆様に分かりやすくお知らせしました。

#### (1) おかやま森づくり情報発信事業

##### ◆事業実績：① 各種広報媒体の活用

- |                   |         |
|-------------------|---------|
| ・新聞への記事掲載         | 3回      |
| ・市町村広報誌への掲載       | 23市町村   |
| ・林政課ホームページによる広報   | 通年      |
| ② パンフレット、ポスター等の活用 |         |
| ・パンフレット、ポスターの作成   | 28,000部 |
| ・PRパネルの作成         | 5組10セット |
| ・街頭PRの実施          | 27回     |



新聞への広告掲載



街頭PRの実施



パンフレットの作成・配布

##### ③ 「おかやま森の名人」出前講座の開催

- ・長年森林・林業に携わっている「森の名人」による出前講座の開催
- ・講座回数 6回

##### ④ 地域で開催されるイベントでのPR

- ・地域の森づくり普及啓発事業（市町村へ委託） 6地域

## 2 森づくりのための人材養成

県民共有の財産である、水源のかん養をはじめとする森林の公益的機能を持続的に発揮させるためには、県民一体となって森林を適正に維持・保全していくことが必要です。このため、森林ボランティア活動の中心的な役割を担う人材の養成、森林・林業教育に必要な人材の育成を推進しました。

### (1) ゆめ・みらい・おかやまの森づくり推進事業(森づくりボランティア育成事業)

#### ・森づくりボランティア育成事業

森林ボランティア活動に関心のある人に初歩的な研修を行い、指導者となり得る人材を育成するとともに、森のガイド登録者の実践的な研修を行いました。

- ◆事業実績：森林ガイド等の養成 21名（森づくりボランティア指導者育成研修）  
実践的な研修 7名（森林ガイドレベルアップ研修）



葉による樹木検索：指導者育成研修



チェーンソーの取扱：レベルアップ研修

#### ・里山ふれあい森活動支援事業

里山整備に取り組んでいる人等に里山の保全・利用、安全作業について初心者向けの講習会を行うとともに、里山グループの情報交換、意見交換などを目的とした研修会を実施しました。

- ◆事業実績：初心者向け講習会 3回（里山ボランティアマスター講座）  
交流研修会 1回（里山保全グループ交流研修会議）



ロープワークの体験実習：マスター講座



受講状況：交流研修会議

### 3 県民の直接参加による森づくり

県民共有の財産である、水源のかん養をはじめとする森林の公益的機能を持続的に発揮させるためには、県民一体となって森林を適正に維持・保全していくことが必要です。

このため、ボランティア団体や地域住民、企業による森づくり活動への支援や広く県民を対象とした森林体験活動を実施し、県民の直接参加による森づくりを推進しました。

#### (1) ゆめ・みらい・おかやまの森づくり推進事業(植樹・保育のつどい)

県民参加による森づくり運動を進めるため、県下の美しい森等で植樹のつどいや保育のつどい等を開催しました。

◆事業実績：植樹のつどい等の開催 66回

- ・参加者数：延べ2,775人
- ・植樹本数： 2,831本
- ・植樹面積： 1.23ha
- ・保育面積： 6.33ha



植樹のつどい

#### (2) ゆめ・みらい・おかやまの森づくり推進事業(企業との協働の森づくり)

森林保全活動に取り組もうとする企業からの要請に対応するため、市町村等と協力し活動対象森林を選定するとともに、森林保全協定の締結に向けた調整や、施業の技術指導等を支援し、森林保全活動に意欲を有する企業の参画を促進しました。

また、こうした活動の環境への貢献度を数値化するため、県独自の森林による二酸化炭素吸収量の評価認証制度を創設し、「岡山県二酸化炭素森林吸収評価委員会」の承認により、認証書を交付しました。

◆事業実績：① 企業による森林保全活動への支援

- ・活動対象森林の選定：221.17ha、34箇所（累計）
- ・企業と地元等との森林保全協定の締結：4企業、1団体

② 二酸化炭素森林吸収評価認証

- ・「岡山県二酸化炭素森林吸収評価委員会」の開催：2回
- ・岡山県二酸化炭素森林吸収評価認証：3企業、1団体



企業による森づくり活動



森林保全協定の調印式

### (3) みどりの大会開催事業

みどりの少年隊をはじめとする児童・生徒及び関係者らが一堂に集まり、自然観察など様々な野外体験活動を通じた交流を行い、森林をはじめとするみどりの大切さを楽しみながら学び、将来にわたってみどりを守り育てていく心を育む契機とするため「みどりの大会」を開催しました。

◆事業実績:みどりの大会の開催1回 参加人数 延500人



緑化運動ポスター入賞者の表彰



みどりの少年隊活動発表



記念植樹



みどりの少年隊等による植樹



野外体験活動（ネイチャーゲーム、小枝クラフト、樹木鑑定など）